

愛川町 洪水ハザードマップ

避難勧告などを聞いたら、すぐに避難を！

町では、水害や土砂災害により人的被害が発生するおそれがあると判断したとき、防災行政無線やメール配信サービスなどで避難に関する情報をお知らせします。

- ◆**避難準備・高齢者等避難開始**
いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
避難に時間を要する人(高齢の方、障がいのある方、乳幼児をお連れの方など)は避難を開始しましょう。
- ◆**避難勧告**
屋外の状況などを確認した上で避難場所へ避難しましょう。
- ◆**避難指示**
まだ避難していない場合は、直ちにその場所から避難しましょう。外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、自宅内で最も安全な場所に避難しましょう。

避難時の心得

○**避難行動要支援者に協力**
高齢者や障がい者の方などは早めの避難が必要です。
避難行動要支援者の避難にご協力ください。

○**二人以上での避難(立退き避難)**
単独行動はせず、隣近所で声をかけ合い避難しましょう。
また、水面下はマンホールや側溝など危険があります。
棒などで安全を確認しながら歩きましょう。



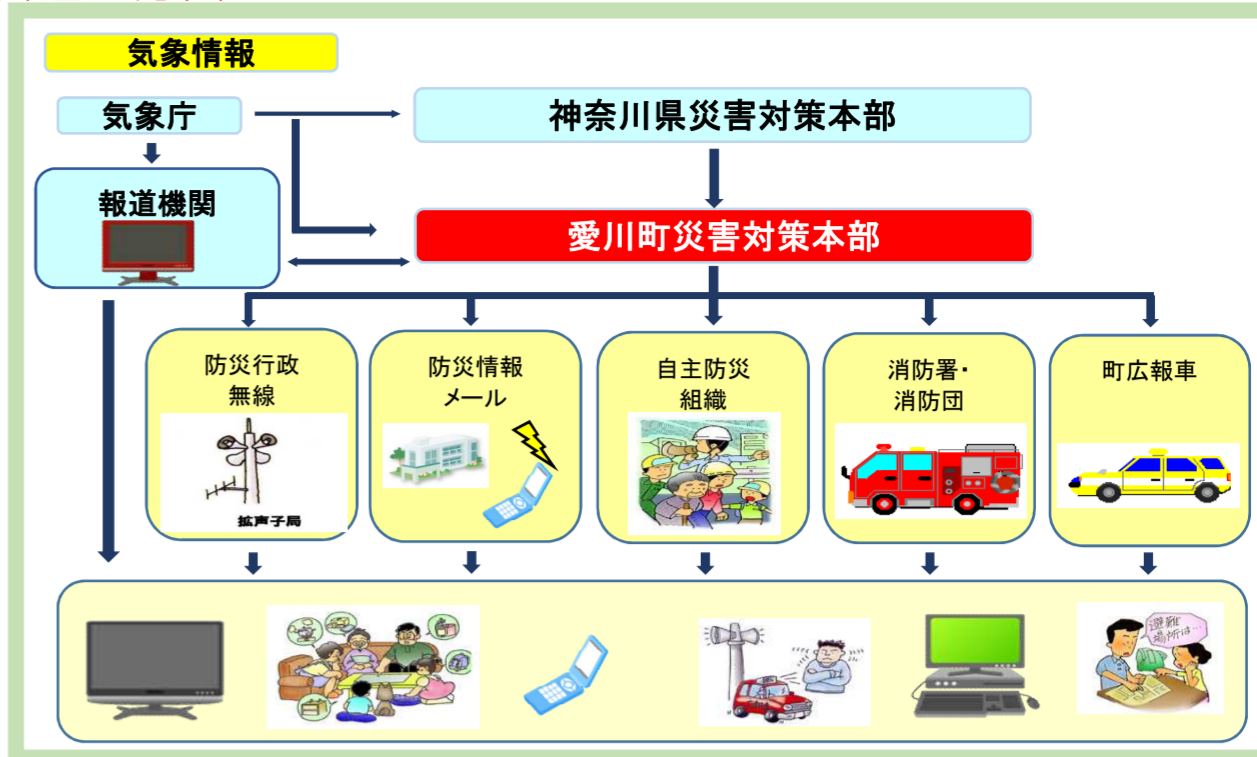
○**危険箇所を調べておきましょう**
日頃から危険箇所や避難場所はどこか確認しておきましょう。

○**屋外避難が危険なときは**
路上の水の流れが速い場合は、無理せず建物の2階以上で崖などの反対側に避難(垂直避難)しましょう。
平屋の場合は、隣近所の2階以上に避難させてもらいましょう。



※この洪水ハザードマップは、中津川、相模川が大雨により氾濫が予想される場合に、洪水浸水想定区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。
平成29年11月作成 愛川町 危機管理室 電話：046-285-7003

情報伝達の方法



町からの情報提供

- ◆**町からの情報**
- ・防災行政無線による放送
- ・音声自動応答サービス 0120-530-310
防災行政無線の放送が聞こえなかった場合やもう一度確認したいときなどに、放送と同じ内容が電話で確認できます。
- ・愛川町ホームページ <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>
- ・携帯電話用 <http://mobile.town.aikawa.kanagawa.jp>
- ・メール配信サービス
<http://mobile.town.aikawa.kanagawa.jp/index.cgi?page=4>
台風や地震、火災などの防災情報や町のイベント情報を配信しています。

このQRコードを携帯電話のバーコードリーダー機能で読み込むとアクセスできます。



迷惑メール受信拒否設定をいている方は「mobile.town.aikawa.kanagawa.jp」からのメールが受信できるよう設定してください。

非常持ち出し品のチェックをしましょう！

- 非常持出品**
□携帯ラジオ □懐中電灯 □乾電池 □現金 □保険証 □預貯金通帳 □印鑑
- 非常食品**
□乾パン □缶詰 □栄養食品 □飲料水 □ドライフード □レトルト食品
□粉ミルク □離乳食
- 救急箱(袋)**
□包帯 □ばんそうこう □消毒薬 □鎮痛剤・解熱剤 □常備薬
- 生活用品**
□下着・上着 □タオル □雨具 □軍手 □ビニール袋
□ライター □ヘルメット・帽子 □生理用品・紙オムツ
□紙皿・コップ・割り箸 □ティッシュペーパー



雨の強さと降り方

1時間雨量(mm)	人への影響や屋内・屋外の様子
10以上～20未満 【やや強い雨】	○ザーザーと降り、地面からの跳ね上がりで足元が濡れる。 ○屋内では、雨音で話し声が良く聞き取れない。 ○地面一面に水たまりができる。 ○この程度の雨でも、長く続くときには注意が必要。
20以上～30未満 【強い雨】	○どしゃ降り。 ○傘をさしても濡れる。 ○寝ている人の約半分が雨に気が付く。 ○側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30以上～50未満 【激しい雨】	○バケツをひっくり返したように降る。 ○道路が川のようになる。 ○山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難準備が必要。 ○都市部では、下水管から雨水があふれる。
50以上～80未満 【非常に激しい雨】	○雨が滝のように降り、傘は役に立たない。 ○水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。 ○都市部では、地下部に雨水が流れ込む場合がある。 ○マンホールから水が噴出する。 ○土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する。
80以上 【猛烈な雨】	○息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。 ○雨による大規模災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

集中豪雨・台風

集中(ゲリラ)豪雨は、**短時間に激しい雨が局地的に降る**ため、川の急激な増水、道路や住宅の浸水といった被害が発生することがあります。
台風は、大雨、洪水、暴風をもたらす、川の氾濫や崖崩れなど、町民の方々の命や生活が脅かされるような被害が発生します。
テレビ、ラジオやインターネットなどで集中豪雨や台風などの情報を入手するとともに、愛川町からの情報を確認し、少しでも危険を感じた場合には、早めに避難することが大切となります。

雨や風が強くなる前または、日頃から、

- 窓や雨戸はしっかりと閉め、窓ガラスには飛散防止のフィルムをはるなど補強をする。
- 側溝・排水溝や雨どいは、掃除をし水はけを良くしておきましょう。
- 風で飛ばされそうなものは、固定をしたり、家の中などに格納しましょう。



落雷

雷は、発達した積乱雲に伴って発生し、被害は夏に集中する傾向があります。落雷や雷に伴うひょうや突風などの被害が予想される場合、雷注意報が発表されます。
屋外に居た場合で雷が近づいてきた場合には、建物や車の中などに避難しましょう。
近くに避難する場所がない場合には、
○できるだけ姿勢を低くする。
○高い木から2m以上離れる。



竜巻

竜巻は、発達した積乱雲の強い上昇気流によって発生する渦巻きです。風速70メートル/秒を超える猛烈な風で**短時間に局地的な被害をもたらす**ことが多く、予測が非常に困難です。竜巻を確認したら、すぐに行動をしましょう。
身を守るために、
屋内では、
○窓は閉め、カーテンも閉める。
○雨戸やシャッターも閉める。
○家の中心部に近い窓のない部屋に移動する。
○地下室や1階など建物の低い場所へ移動する。
○低い姿勢をとり、両腕などで頭や首を守る。
屋外では、
○近くの頑丈な建物内に避難する。
○近くに頑丈な建物などがない場合には、水路や溝などの物陰に身を伏せ、両腕で頭と首を守る。



愛川町の警報・注意報発表基準

- ◆ **特別警報**
台風や集中豪雨により、数十年に一度の大雨や暴風が予測され「**警報**」をはるかに超える現象に対して発表されます。
- ◆ **警報・注意報**
大雨や強風などの気象現象によって災害が起こるおそれのあるときに「**注意報**」が発表され、さらに重大な災害が起こるおそれがあるときに「**警報**」が発表されます。

種類	注意報	警報
大雨・洪水	表面雨量指数基準 11 土壌雨量指数基準 92 流域雨量指数基準 -23.2(中津川)	表面雨量指数基準 18 土壌雨量指数基準 132 流域雨量指数基準 -29(中津川)
強風(暴風)	平均風速12m/s以上	平均風速25m/s以上

※表面雨量指数とは、短時間強雨による浸水害の危険度の高まりを把握するための指数で、降った雨が地中に浸み込まずに、地表面にどれだけ溜まっているかを気象庁が指数化したものです。
※土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中に貯まっている水分量を気象庁が指数化したものです。
※流域雨量指数とは、中津川流域に降った雨水が、どれだけ下流域に影響を与えるかを気象庁が指数化したものです。

土砂災害警戒情報とは？

大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。
●**早期避難が重要です！**
土砂災害警戒情報等が発表されなくても、斜面の状況には常に注意を払い、普段とは異なる状況(一般に「土砂災害の前兆現象」と言います)に気がついた場合には、直ちに周囲の人と安全な場所に避難するとともに、**町役場・消防署**等に連絡してください。

前兆現象

